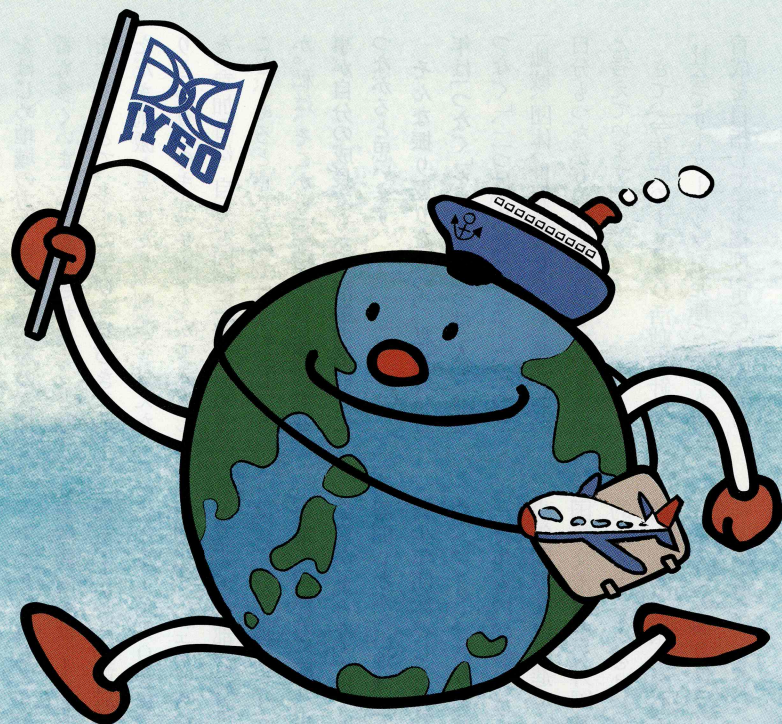


HUMANO

創刊号



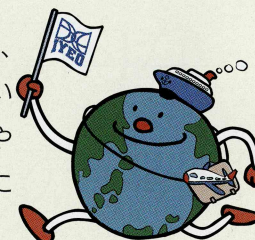
C O N T E N T S

- 2 創る。つながる。新しいIYEO。
- 3 平成27年度活動方針
- 6 IYEO設立30周年プロジェクト
 - ビジット東北
 - 会員見える化(IYEO会員紹介)
 - ファンドレージング
 - ブロック別・各県プロジェクト
- 8 地域における活動(自主事業、ある県の1年の活動)
- 10 本部役員並びに都道府県会長紹介
- 12 東日本大震災復興支援活動
- 13 大規模災害復興支援活動
- 14 国際的な活動
- 16 IYEOへの寄付等について

IYEOが発展していくために、協力しあいましょう!

社会に貢献できる団体として、日本青年国際交流機構が発展していくためには、各都道府県IYEOの活動充実と経験ある先輩と新しいメンバーの連携、新しい活動への取組、国際ネットワークの活用、効果的な情報交換など、できることやすべきことが数多くあります。会員の皆さんと協力しながら、本部並びに都道府県役員一同がんばっていきたいと考えています。

IYEO活動発展のために、会員の皆さんからの寄付や情報提供の協力をお願いします。



～ IYEOへの寄付等について <http://www.iyeo.or.jp/> ～



口座名：日本青年国際交流機構
口座番号：00190-2-464228
銀行名：ゆうちょ銀行
店番号：019(ゼロイチキコウ)
預金種目：当座
口座番号：0464228
*一口1000円から何口でも!!

IYEO
組織基盤作りのために



口座名：日本青年国際交流機構
記号：10130
番号：81644051
銀行名：ゆうちょ銀行
店番号：018(ゼロイチハチ)
預金種目：普通
口座番号：8164405
*支援活動継続のために御協力ください。

IYEO東日本大震災
復興支援活動



活動内容：1年(夏・秋・冬・春)
一口20,000円
このうち、寄付者の選択する二季節の東北の旬の品をお届けします。旬の物は、会員が関わる農家等に協力をお願いし、おいしくいただける品を選定します。
(本文6ページ参照)8月中旬より受け付けます。

IYEOに寄付して、
東北の旬を食べよう!

内閣府青年国際交流事業の成果として、IYEO会員の活躍状況をまとめています。社会活動、お仕事、著作を含む創作活動の紹介等、あなたの活躍状況をお知らせください。
A4サイズ1枚程度にまとめてお送りください。
Email: humano@iyeo.or.jp

あなたの
トレーニングポイント



IYEOはボランティアの任意団体であるため、寄付金控除の対象ではありません。

<寄付について>

御協力頂ける方はEmail(iyeobokin@iyeo.or.jp)また口座振込時の通信欄にて、次の1.～7.の事項をお知らせください。

1. 氏名 2. 会員番号(封筒に記載されている番号) 3. 参加事業名 4. ホームページ寄付者名記載希望
5. 住所 6. 電話番号 7. メールアドレス

<編集後記>

HUMANO創刊号は、いかがでしたか? 今後は、皆さんの御意見を伺いながら編集していきますので、御提案、御意見をお寄せください。 HUMANO編集委員会一同

IYEO広報誌 **HUMANO** 創刊号

編集・発行 日本青年国際交流機構(IYEO) International Youth Exchange Organization of Japan

発行日 平成27年7月31日

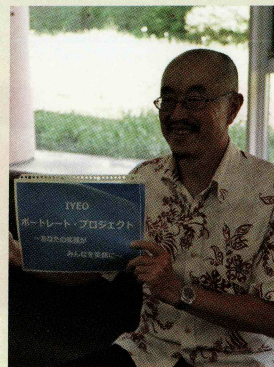
〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2-35-14 東京海苔会館6階

電話: 03-3249-0767 / FAX: 03-3639-2436 / E-mail: humano@iyeo.or.jp

IYEOでは、右記のfacebookページ Twitter公式アカウントを運用しています。  facebook (iyeo)  Twitter (iyeo)

IYEO 設立30周年

創る。つながる。新しいIYEO。



IYEO設立30周年に向けて、1年前よりファンドレージングイベント(財政基盤強化のための活動)として、「IYEOポートレート・プロジェクト*」を実施。その被写体となる会長。

*このプロジェクトでは、会員が会員のポートレートを撮影します。撮影される側は被写体となることで、撮影する側は撮影スキルを提供することで、IYEOに貢献しています。

今年、設立30周年を迎える日本青年国際交流機構(IYEO)の未来につながる新たな一歩を踏み出したいと考えていますので、皆様共に歩んでいきましょう。

昨年度、会長に就任し、自分に課した使命のついでに全国八つのブロック大会に参加することがありました。私は、今までの活動を通して、地域での活動がIYEOの原点の一つであると感じており、全国各地の仲間が何を想いどんな活動をしているのかをこの目で確かめ共有したいと思ったからです。各ブロック大会に参加して、「本当にすごいな」と改めて体感しました。IYEO

会員には自分の親年代の大先輩からこれから内閣府青年国際交流事業に参加する自分の子供世代の青年、そして、講師をはじめ地域の方々、留学生や一般の参加者も多くいました。参加された方々と話をする中で、多くの学びと気づきを得た。参加者は、自分も同様に取り組めることがあると感じたのではないだろうか。私は、そこから歩みだし実行する事が自分の成長でもあり活動の活性化につながると思います。

そんな振り返りをしつつ、私自身、今年「つながる」をテーマに、「つは」「人と人をつなぐ」、「二つは」「次代へつなぐ」、「三つは」「地域、団体、世界をつなぐ」を意識して、自分もつながりながら活動していきたいと考えています。

さて、今年度のIYEO活動方針は、「社会でリーダーシップを発揮できる人材育成を目指して」を掲げ、更に、IYEO

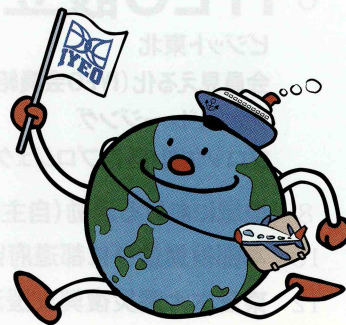
設立30周年の節目として、「創る。つながる。新しいIYEO。」をテーマに様々なプロジェクトを展開していきます。

IYEO設立30周年プロジェクトの具体的内容は、IYEOキャラクターの選定、IYEO会員の豊富な人材を可視化するIYEO会員マップ作成、財政基盤強化プロジェクト策定、東北ビジットなどです。更に都道府県IYEOにおいて、自らが企画した30周年を意識した事業に積極的に取り組みます。IYEO会員が丸となって様々な活動を積極的に展開しながら、地域社会で必要とされる青少年団体として対外的な認知度を高めていこうではありませんか。

今年も内閣府並びに一般財団法人青少年国際交流推進センター、内閣府青年国際交流事業の外国参加青年との国際的ネットワークをはじめ関係団体等と連携をしながら、全国のIYEO会員の皆さんと共に実りある30周年記念の年にしていきましょう。

日本青年国際交流機構
会長 佐藤恵一

2015年、IYEOは設立30周年を迎えました。



IYEOキャラクター「ランナス」

「創る。つながる。新しいIYEO。」をテーマに、IYEO設立30周年プロジェクトを行っています。

これまでの歴史や実績をいかし、今後もIYEOの活動を充実させていくために、IYEO設立30周年プロジェクトを通じて、皆様と更なる発展を目指していきます。この広報媒体として、IYEOキャラクターを創り、IYEO独自の広報誌を創刊しました。

IYEO会員に募って選考されたキャラクターは「ランナス」。走る(RUN)と地球(EARTH)を合わせて、RUN EARTH(ランアース)。IYEOには日本全国のみならず国境を越えてたくさんネットワークがあり、青少年の育成を基盤としながら様々な社会貢献活動に取り組んでいます。ランナスは、地球自体が走り回るかのようにいきいきと活動するIYEO会員を表しています。船の帽子と飛行機の姿を身につけて、今日も笑顔で走り続けます。

広報誌の名称「Humano(ウマノ)」は、全国都道府県IYEO代表者及び本部役員で思いを込めて名付けました。「Humano」はラテン語で「人」。国籍、人種に関係なく、人と人との交流が平和な社会を築くと考えるIYEOが、その活動を紹介する独自広報誌です。

【平成27年度活動方針】 社会でリーダーシップを発揮できる 人材育成を目指して

現代のグローバル社会においては、幅広い視野を持つて柔軟に新しい取組を考え、実行できる人材が必要とされている。日本青年国際交流機構設立30周年にあたり、次の10年を見据え、内閣府青年国際交流事業で培われた青年育成のノウハウと事後活動組織として半世紀を超え築き上げた実績とネットワークをいかし、社会で活躍できる人材育成に取り組む。

① 青年層活性化の基盤づくりに取り組もう

社会活動における青年のニーズを把握して、青年の活動の場作りと環境整備に取り組むべく、国に対して青年施策についての提言を積極的に行う。同時に、これまで培ったノウハウを次世代へ継承するとともに、他団体との連携等による地域活動の促進、青年による社会の活性化を目指す。

② 地域社会を活性化するとともに地域に貢献できる人材育成に取り組もう

地域における国際交流活動を含む社会活動に積極的に取り組み、世界との距離を狭めるとともに、地域のニーズに合った貢献ができる人材の育成に努める。

③ 国際ネットワークをいかした国際協力活動に取り組もう

国内外における様々な課題に対応するため、国際協力活動を推進し、社会に貢献していく。

【活動分野】

第1分野:青少年分野についての活動の啓発

- (1) 全国の会員からの意見をまとめて、国の子ども・若者施策に対して提言書を提出
- (2) 国及び地方自治体の青少年に関する法律及び条例の普及・啓発への協力
- (3) 若者の人材育成並びに意識啓発を目的とした独自の自主事業への取組
- (4) 社会活動の推進
- (5) 青少年分野にかかわる公的な場への人材推薦及び積極的発言
- (6) 他団体との連携

第2分野:地域における国際交流活動を基本にした人材育成

- (1) 短期の海外派遣事業
- (2) 国際理解を深める勉強会やワークショップなどの研修プログラムの開催
- (3) 小中学校の国際理解教育への協力
- (4) 在住外国人への支援活動や地域の人々との交流プログラムの実施
- (5) 内閣府青年国際交流事業報告会の開催
- (6) 国際的視野と専門性をいかしたフォーラム等の開催

第3分野:国際交流事業受入れへの協力及び自主事業による外国青年受入れ／派遣

- (1) 青年国際交流事業へのプログラム内容の提言

- (2) 行政・団体等との連携による地元青年を含めた受入実行委員会の組立て
- (3) ホームステイのアレンジ
- (4) 地域産業並びに多様な分野との連携による外国青年の日本理解促進
- (5) 団体及び大学との連携によるディスカッションプログラムの組立て

第4分野:都道府県IYEO及び会員のネットワーク強化と啓発活動

- (1) 全国大会、ブロック大会(青少年国際交流を考える集い)などの開催
- (2) 都道府県IYEO役員研修の開催



【本部における活動計画】

1.IYEO設立30周年プロジェクトの取組

設立20周年記念を機に取り組んだ事業を継続しつつ、30周年プロジェクトの企画立案、実施とその成果の取りまとめ

2.東日本大震災の被害からの復興活動への取組

平成23年3月11日(金)に発生した「東日本大震災」による被害への復興支援を継続的に行うべく、岩手県、宮城県、福島県を中心とした被災地のニーズを把握し、都道府県IYEOとの連携を強化して進めていく。

- (1) 東北ビジット／東北へ行くキャンペーン
- (2) 東日本大震災復興支援のための募金活動
- (3) 継続支援を行う地域のニーズの明確な把握、効果的な支援への取組
- (4) 国際交流の視点を取り入れた活動を、被災地において積極的に展開
- (5) ホームページ等で世界や全国からのメッセージや活動内容の発信

3.青少年分野についての意識の啓発及び具体的な活動の推進

- (1) 子ども・若者施策への提言
- (2) 青年のリーダーシップの向上や社会への参画意識を高めることができる内容及び異文化理解を促進する内容の自主事業の企画・運営
- (3) 子ども・若者育成支援推進法の普及・啓発への協力
- (4) 各種青少年国際交流事業へのリーダー推薦及び公的委員会等への人材推薦
- (5) 他分野、他団体との連携活動の推進(共催、後援、協力)
- (6) 社会活動(ボランティア活動)の啓発・促進
 - ①「自主活動サポート助成金制度(チャレンジ・ファンド)」
 - ②「ボランティアのすすめ」

4.国内ネットワークの強化

- (1) 各事業直後の全体での事業報告会の開催(年3回)
 - 内閣府及び(一財)青少年国際交流推進センターと共催
 - ①「グローバルリーダー育成事業」報告会 平成27年6月28日(日)

- ②平成27年度航空機による青年海外派遣報告会 平成28年2月7日(日)
- ③第42回「東南アジア青年の船」事業報告会 平成28年2月21日(日)
- (2) 事業毎の国内ネットワークの自主的強化
 - ①第9回Air-Net Dayの開催
 - ②「日本・中国青年親善交流」事業関係者による中国同窓会の開催
 - ③各事業関係各国大使館への訪問
 - ④「青年社会活動コアリーダー育成プログラム」既参加者の情報交換会の開催
- (3) 会員情報の把握強化
 - 「IYEO会員データプロジェクト」の継続

5.全国大会の開催

第31回全国大会高知大会
日程:平成27年8月29日(土)～30日(日) 開催地:高知県

6.全国推進会議の開催

第62回全国推進会議
日程:平成27年8月28日(金)～29日(土) 開催地:高知県
第63回全国推進会議
日程:平成28年2月13日(土)～14日(日) 開催地:東京都

7.ブロック大会(青少年国際交流を考える集い)

平成27年度中に8ブロックにおいてブロック大会を開催する。今年度四国ブロックについては、全国大会と同時開催とする。ブロックごとに活動方針に沿ったテーマを設定し、ブロック大会開催の際に掲げて、会員の活動についての共通認識の形成と意識高揚に資する。

8.都道府県IYEO役員研修の開催

都道府県IYEOで事務局を担当する役員メンバーから代表者を集めて、実務研修を行う。都道府県IYEOの活動基盤の充実を図ることにより、全国組織としての組織基盤の確立を目指して人材育成の一環として行うものである。

日程:平成27年6月13日(土)～14日(日)(一泊二日) 開催地:東京都

- (3) ブロック内IYEO間の連携強化の取組
- (4) 各事業の既参加者の縦のつながりを促進する取組による国内ネットワーク強化
- (5) プリテンボード発行などによる会員間の情報共有
- (6) 会員情報の把握強化

第5分野:国際協力活動

国内外で起きる災害や諸問題に対して、各国の事後活動組織と連携して問題解決に向けて取り組む

第6分野:内閣府青年国際交流事業の外国参加青年とのネットワーク

- (1) 「東南アジア青年の船」事業のASEAN各国事後活動組織との国際連携組織(SSEAYPインターナショナル)
 - ①SSEAYPインターナショナル総会の開催
 - ②共通連携活動の取組
 - ③SSEAYPインターナショナル事務局担当国としての対応
- (2) 「世界青年の船」事業参加46か国の事後活動組織との国際連携組織(SWYAA)
 - ①SWYAA国際大会の開催
 - ②共通連携活動の取組
 - ③SWYAA事務局としての対応
- (3) 中華全国青年連合会を基本にした日本・中国青年親善交流事業

- の中国既参加青年との連携
 - ①中国との交流プログラムの推進
- (4)日本・韓国青年親善交流事業の韓国既参加青年との連携
 - ①「日韓交流連絡会議」の開催
- (5)国際青年育成交流事業の交流国であるヨルダンとドミニカ共和国とのネットワーク形成
- (6)青年社会活動コアリーダー育成プログラムのネットワーク形成

第7分野:広報活動への積極的取組

- (1) 内閣府青年国際交流事業募集広報への協力
 - ①年間を通しての広報活動の工夫
 - ②事業報告会及び事業説明会の開催
 - ③大学での事業説明会への協力
 - ④企業への働きかけ
- (2) 団体をアピールするための広報
 - ①広報誌の創刊
 - ②内閣府青年国際交流事業との連携を分かりやすく示す
 - ③独自の自主事業をまとめて対外的にアピールできるよう組み立てる
 - ④インターネットやソーシャルメディアを使った広報の充実

第8分野:財政基盤の確立

将来を展望した運営と財政基盤確立を目指した、財政強化検討チームの立ち上げ

9.海外とのネットワークの強化

- (1) SSEAYPインターナショナル第27回総会の開催
(日程:平成27年4月23日(木)～4月26日(日) 開催国:ベトナム)
- (2) 「世界青年の船」事後活動組織(SWYAA)国際大会の開催
(日程:平成27年8月12日(水)～8月16日(日) 開催国:フィジー)
- (3) 中華全国青年連合会を基本にした日本・中国青年親善交流事業の中国既参加青年と連携
- (4) 日本・韓国青年親善交流事業の韓国既参加青年との連携
(第12回「日韓交流連絡会議」 日程:平成27年8月7日(金)～9日(日) 開催国:日本)
- (5) 国際青年育成交流事業のネットワーク形成に向けた調整
国内におけるAir-Net Day の開催などを軸におきながら継続的派遣国を中心に発展
- (6) 「青年社会活動コアリーダー育成プログラム」のネットワーク形成に向けた調整

10.国際並びに国内支援活動

- (1) インドシナ津波被災国であるスリランカへの支援(スリランカ教育支援プロジェクト)を始めとする「世界青年の船」事後活動組織(SWYAA)における国際支援活動の継続



- (2) インドシナ津波被災国であるタイ、インドネシアへの支援、並びにタイの「For Hopeful Children Project」への支援活動を始めとする「東南アジア青年の船」事業事後活動連携組織(SSEAYPインターナショナル)における国際支援活動の継続
- (3) 事後活動組織の国々においての災害に対して、各国事後活動組織との連携による支援
- (4) 各都道府県においての災害に対して、都道府県IYEOとの連携による支援

11.平成27年度、28年度内閣府青年国際交流事業募集広報への協力並びに団体としての広報活動強化

IYEOの社会活動団体としての活動実績を明確にアピールし、非営利団体としての社会的役割を広く知らしめるための広報活動に力を入れるとともに、内閣府青年国際交流事業の充実を図るために、参加者募集広報活動の協力で重点をおいて取り組む。

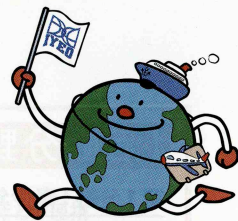
- (1) 事業広報
 - ①年間を通しての広報活動の工夫
 - ②事業報告会及び事業説明会の開催
 - ③大学での事業説明会への協力
 - ④募集パンフレットの配布先の開拓
 - ⑤マスコミへの紹介
 - ⑥企業への事業説明
 - ⑦その他、効果的な広報活動を検討し推進
- (2) 団体広報
 - ①広報誌等の活用
 - ②IYEOライブラリーの開設
 - ③ソーシャルメディアの活用
 - ④その他、効果的なツールの活用

12.事後活動「Bulletin Board」の発行

年4回(全体発送と全国大会案内、事後活動ニュースの発送時に同封)発行
都道府県IYEOの連絡文書発行に協力(A4両面スペースに都道府県またはブロックごとに印刷して全体送付の際に同封)

13.財政基盤の確立

会員に対しての呼びかけを含め、継続的な寄付金収入の確保に努める財政強化検討チームを立ち上げ、具体的な財政基盤の強化に努める



IYEO設立30周年プロジェクト

「創る。つながる。新しいIYEO。」をテーマに、IYEO設立30周年プロジェクトを行っています。

今後IYEOの活動の継続・発展を目指し、IYEO設立30周年プロジェクト実行委員会を結成して取り組むプロジェクトを通じて、会員及び関係者の皆さんと共に、更なる成長を目指していきます。積極的な参加、運営への参画で、元氣なIYEOを創っていきましょう！

1. 目的

1. 国際交流を通じて、リーダーシップを発揮できる青年を育成する。

2. 継続的に青少年分野においてリーダーシップを取れる団体としての対外的認知度を上げ、社会的信頼を厚くする。

2. ねらい

世界にネットワークを持つ全国レベルの青少年団体として、次の3点の実現を目指す。

1. グローバルなマインドを持って活躍できる青年を育成し、地域の活性化に貢献する。

2. IYEOの活動やIYEO会員の活躍を積極的に発信することでブランド力を高める。

3. 行政や他団体と広く連携し、青少年団体の中核を担う。

3. テーマ

創る。つながる。新しいIYEO。

4. 活動計画及びプロジェクト事例

（会員が誰でも取り組める共通プロジェクト）

①「IYEO会員マップ」

「IYEO会員マップ」は、都道府県IYEOごとに、所属県に由来があり、社会で広く活躍し影響を与えている会員を把握して、広く紹介します。

IYEOの豊富な人材（人財）を分かりやすく広く伝えることで、57年に渡る内閣府青年国際交流事業の既参加者の世代間のコミュニケーションを促進し、同じ志を持って活動する仲間同士の更なる連携を図るとともに、IYEOの人材の豊富さを会員及び広く一般に知らしめることを目的としています。

「IYEO会員マップ」は、第31回全国大会高知

大会（8月29日～30日）で紹介した後に、ウェブサイトに掲載します。現在、各都道府県IYEO会長を中心に作成しています。今後は、IYEO等の社会貢献活動の際の講師紹介として活用できるように調整します。

（本部主導で行うプロジェクト）

② IYEOキャラクター選定プロジェクト

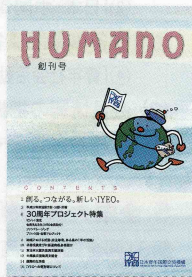
平成27年1月中旬～3月中旬のキャラクター募集期間に、IYEO会員、もしくはIYEO会員の家族・友人から応募のあった総数は、22作品（会員8名、非会員8名、計16名）でした。

IYEO本部役員及び全国都道府県IYEO会長による投票を2回実施し、走る（RUN）と地球（EARTH）を合わせた名称である「ランナス」が選ばれました。

ランナスは山口県の中野朋子さん（非会員）の案により生まれたキャラクターです。IYEOマスコットキャラクターのデザイン授賞式は第31回全国大会高知大会（8月29日～30日）に予定しています。

③ 広報誌の発行

現在、内閣府からの「事後活動二回」ス、（財）青少年国際交流推進センターから「マクロコズム」によって、内閣府青年国際交流事業並びにIYEOの活動情報をお届けしていますが、IYEO活動のより詳細な内容をお送りするために、広報誌「HUMANO」を発行しました。創刊号では、会員の皆様にIYEOを理解していただくために、佐藤会長のメッセージをはじめとし、「平成27年度活動方針」を中心に、IYEO設立30周年イベント、地域でのIYEO活動等を具体的に取上げています。



● ビジット東北ツアー

IYEO設立30周年プロジェクトの環として、地域への貢献をコンセプトに、「ビジット東北ツアー」を7月24日（金）～26日（日）に実施します。2011年3月の東日本大震災被災地への支援のため、被災地がどのように復興して

④ 神奈川県 春節時期（2月上旬）、中華街探索・山下公園の立像巡り等

⑤ 埼玉県 時期未定、大宮盆栽美術館、もしくは高麗郡建都1300年イベント

⑥ 千葉県 関東ブロック大会にて、分科会もしくは地域理解研修に組み込むことを検討

B・IYEOの活動やIYEO会員の活躍を積極的に発信することでブランド力を高める

「組織の強みを内外に発信。」「財政基盤の強化。」を目指し、次の企画を計画しています。

● 広報誌、地方新聞への活動掲載

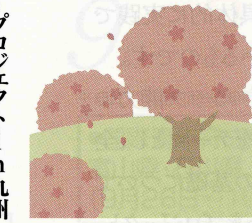
● 30年の歴史を振り返る活動報告

● 学園祭、国際交流イベントブース出展

● 異業種交流会

● 物産展等によるフアンドレージング

● お花見リレー



（ブロックごとの取り組み）

■九州ブロック：IYEO30周年リレープロジェクト in 九州九州ブロック共同イベント用の横断幕を作成しました。

九州、沖縄県から出発し、鹿児島県、宮崎県、熊本県、福岡県を回り、活動の盛り上げを行います。

C 行政や他団体と広く連携し、青少年団体の中核を担う。

ノウハウを団体内で継承すると共に、会員以外や他団体と積極的に連携することを計画しています。

● テーマに基づいたフォーラムの実施
● お仕事セミナー



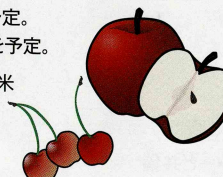
～ IYEOに寄付して、東北の旬を食べよう！～

IYEOの特徴である、多世代・多方面に広がる会員の幅を活かして新たな寄付活動への取組、そして、IYEOへ寄付することへの理解を深めるとともに寄付の促進を図る。また、東北の旬を食べて、東北を盛り上げるきっかけとする。

● IYEOの組織充実のための寄付意識の向上を図る
● 東北で農業を行うIYEO会員に協力を仰ぎ、季節ごとに東北の旬が届き、一年を通じて、東北に想いを馳せる時間を作ることで、「東北ビジット」プロジェクトとのコラボレーションを図る。

- (1) 実施時期・期間：2015年9月～2016年8月予定（秋・冬・春・夏の4つの季節から2季節を選択）
- (2) 実施取扱：IYEO事務局（申込受付）
- (3) 対象：IYEO会員限定
- (4) 対象人数：50名限定
- (5) 具体的な活動内容：1年（夏・秋・冬・春）一口20,000円の寄付のうち、寄付者の選択する二季節の東北の旬の品が届く。旬の物は、会員が関わる農家等に協力を願ひ、おいしくいただける果物や商品を活用し、商品を送付する。
- (6) 期待できる効果：寄付意識の向上。寄付を通じて会に貢献する意識の醸成。東北の旬を食べることで、東北に想いを馳せる。
- (7) 申込方法：IYEOウェブサイトにて8月中旬より詳細を掲載し、申込み受付予定。
- (8) 商品（案）：（東北各県IYEOより）青森県、岩手県、宮城県、山形県などの品を予定。

秋	10月中旬	米（はえぬぎ）	11月中旬	リンゴ、キウイ	11月上旬	米
冬	1月	大根（漬物）	2月	メカブ		
春	6月後半	さくらんぼ	6月上旬	ワラビ		
夏	8月後半	だだちゃ豆	8月中旬	乳製品詰め合せ		



いつたか、また、地元の人との交流を通して現状と課題を学ぶ機会を用意し、参加者が被災地の現状について発信できるように促します。活動内容は、陸前高田市副市長表敬 復興の取組についての説明、地元の人による被災地案内、縁側カフェ（文化交流、各国のお茶、お菓子の提供、外国の料理づくりなど）、ボランティア活動で、約40名外国参加者：11名、日本参加者：20名、スタッフ：6名、岩手県IYEOメンバー）が参加します。

④ フアンドレージング

IYEO設立30周年フアンドレージング企画として、「IYEOに寄付して、東北の旬を食べよう！」を実施します。

（ブロックごとの取り組み）

■北信越及び北海道・東北ブロック：新潟×東北（福島・宮城・岩手）チューリップ大作戦

平成25年に実施した福島県（郡山）での実施に続き、今年は塩竈・大槌で開催しました。新潟県赤十字ボランティアの皆様、各県（北信越、東北）のIYEOのメンバー、花を提供下さった農家の方々等多くの方が参加しました。昨年、福島県の子供達にもチューリップの花絵を楽しんでもらえたら良いなあ、と新潟から郡山市にチューリップを運び、郡山のニコニコ子ども館の広場をお借りして作った花絵。今年はさらに広く、東日本大震災の被害を受けた塩竈（宮城県）、大槌（岩手県）へと花が運ばれることとなり、たくさんの方に新潟県のチューリップと真心を届けることができました。写真は宮城での活動場所、塩釜の桂島です。地元の高校生がデザインした花絵です。



5. 主管

IYEO設立30周年プロジェクト実行委員会

6. 期間

平成27年4月1日～平成28年3月31日

7. 問合せ先

IYEO設立30周年プロジェクト実行委員会 事務局
TEL: 03-3249-0767
FAX: 03-3639-2436
E-Mail: iyeo30th_project@iyeo.or.jp

3月	2月	1月	12月	11月	10月	9月	9月	8月	7月	6月	5月	4月
活動実績報告書等の整理	全国推進会議	下旬より、平成28年度の内閣府青年国際交流事業の参加青年募集開始 各都道府県IYEOでは事業参加報告及び翌年度の事業説明会(3月)	地域の留学生との交流会(独自事業)	ブロック大会実施(会員が対象)	地域の活動への協力(他団体との協力)	様々な内閣府青年国際交流事業の地方プログラムの受入れ	定例会	全国推進会議(都道府県の代表者) 全国大会(全会員が対象) 独自事業	今年度派遣者壮行会 (各都道府県IYEO単位)	都道府県IYEO役員研修	総会	役員会 都道府県庁担当所管課への御挨拶 内閣府での二次試験に向けたアドバイス会

《都道府県IYEOの1年間の主な活動予定》

IYEOは、各都道府県に青年国際交流機構(独自の名称の場合あり)を組織し、各都道府県が実施している青年国際交流事業に参加した青年たちとも連携をしながら活動しています。

各都道府県のIYEO会員数は100名、1800名と幅広いため、それぞれ活動の規模は違いますが、都道府県IYEOの1年間の活動の流れを知っていただくために全国の実績を交えながら一つの事例として紹介します。



10月 グローバルフェスタ等、他団体と協力した活動の実施



8月 全国大会 平成27年度は高知県で開催(8月29~30日)
(写真は平成26年度北海道大会)



11月 ブロック大会実施(全会員が対象)

平成27年度ブロック大会実施開催一覧

青森県	7月18日(土)~19日(日)	アソベの森 いわき荘(弘前市)
千葉県	11月28日(土)~29日(日)	アカデミアフォーラム Academia Forum(成田市)
石川県	11月28日(土)~29日(日)	ANAホリデーイン金沢スカイホテル(金沢市)
愛知県	1月30日(土)~31日(日)	(調整中)
奈良県	10月17日(土)~18日(日)	吉野荘湯川屋(吉野郡)
鳥取県	12月5日(土)~6日(日)	ニューアーバンホテル(米子市)
鹿児島	7月11日(土)~12日(日)	鹿児島県市町村自治会館(鹿児島市)

9月~3月 地方プログラムの受入れ

平成27年度内閣府青年国際交流事業の受入れ一覧

●国際青年育成交流 富山県・石川県・大阪府・山口県・香川県・沖縄県 (9月26日~10月4日)
●日本・韓国青年親善交流 宮城県、鳥取県(11月2~8日)
●東南アジア青年の船 山形県、福島県、茨城県、新潟県、愛知県、島根県、愛媛県、佐賀県、長崎県、熊本県、北九州市(10月29日~11月1日)
●日本・中国青年親善交流 群馬県、函館市(11月13~19日)
●次世代グローバルリーダー事業「シップ・フォー・ワールド・ユース・リーダーズ」 岩手県、山梨県、福井県、三重県、滋賀県(1月16~19日)
●青年社会活動コアリーダー育成プログラム 鹿児島県、大分県、和歌山県(3月1~6日)



4月

年度始めには、関係団体への挨拶回り、役員会を行います。

県での中間選考合格者を対象にして、内閣府で行われる二次試験に向けてのガイダンスを行います。

試験に臨むにあたって、どのような心構えや準備が必要かなど、実践的なアドバイスをを行います。

6月 都道府県IYEO役員研修

都道府県IYEO役員研修は、それぞれの地域で活動を発案・展開していく上で必要な視点を養い、それを具体的に実践できる人材を育成することをねらい、毎年行っているものです。

平成27年度は、地域で活躍するためのリーダーシップ能力の向上~『発想力』×『企画力』×『実施運営力』~をテーマとし、全体会で、IYEOの特徴について、また企画運営の基礎について理解を深めた後、3つの分科会(A. 地元いきいきプロジェクト、B. 多文化わくわくプロジェクト、C. 若者きらきらプロジェクト)で、それぞれワークショップ形式で企画作りに取り組み、参加者自身が考えを深め、具体的に所属する都道府県IYEOの活動にいかすためのスキルを身につけました。



5月

総会では、前年度の活動報告、決算、今年度の活動予定、予算、その他役員体制について協議します。

(写真は島根県「ネットワークしまね」の総会)



7~8月 独自事業

青年社会活動コアリーダー育成プログラムをきっかけとし、海友会独自でオーストリアのAustrian Young Workers Movementとの交流を始めて8年。各年で派遣と招へいを行い、これまでに4回の招へいを行いました。派遣と招へいで青年リーダーを育成すると共に、地域に貢献し、オーストリアで日本を、日本でオーストリアを紹介して、交流を深めています。(日本・オーストリア青年交流事業 招へいプログラム(AJプロジェクト)〈海友会(和歌山県)〉)



2月 全国推進会議

平成27年度は平成28年2月13~14日に開催(東京)

日本青年国際交流機構 本部役員並びに都道府県会長紹介

IYEOは、ボランティア組織として歴史を重ねてきました。

本部役員と47都道府県ごとに組織を置き、無償ボランティアの役員によって運営されています。

全国都道府県IYEOのすべての役員の方々を御紹介したいところですが、ここでは、本部役員と都道府県会長のみを紹介します。

IYEO設立30周年を迎えて、都道府県IYEO役員の皆さんもはりきっています。会員の皆さん、都道府県IYEOへ、是非コミュニケーションを取ってください。

【表記について】

・最初に参加した事業を掲載
・事業略称：航空機派遣（派遣先） 青年の船（船）
東南アジア青年の船（東ア） 世界青年の船（世界）
青年社会活動コーディネーター育成プログラム（コア） 県単派遣事業（県単）

IYEO本部役員一覧 平成27年度4月1日現在

役職	氏名	参加事業
会 長	佐藤 恵一	S61船(20回)
副会長	大橋 玲子	S55船(14回)
副会長	白鳥 正信	H5東ア(20回)
副会長	高下 正晴	H2世界(3回)
副会長	本田 温子	H10世界(11回)
副会長	田村 香子	H10ドミニカ共和国(5回)

ブロック幹事		
北海道・東北	及川 留太郎	S57船(16回)
関東	横塚 尚子	H16世界(17回)
北信越	間嶋 祐樹	H13世界(14回)
東海	齋藤 佳子	H1世界(2回)
近畿	寺西 由佳	H12世界(13回)
中国	更田 匡史	県単派遣
四国	本山 由加里	H21世界(22回)
九州	村本 きよみ	H10世界(11回)

幹事		
事務局長	宮原 久美	H13東ア(28回)
事務局次長	桑原 真哉	H17チリ(12回)
国際担当幹事	齋藤 珠恵	H9世界(10回)
組織担当幹事	田中 純子	H7世界(8回)
PR担当幹事	川嶋 伸明	H14日韓(16回渉外団員)
組織担当幹事	福田 達男	H16コア(3回)
国際担当幹事	伊井 頼子	H9世界(10回)
PR担当幹事	長末 辰也	H12世界(13回)
PR担当幹事	得能 淳	H17世界(18回)
組織担当幹事	赤木 功	H7世界(8回)

監査役		
監査役	吉岡 誠	H21日韓(23回副団長)
監査役	野村 隆紹	H6日中(16回)

顧問及び参与		
顧問	坂田 清一	S52船(11回)
顧問	酒井 洋幸	S42中欧(9回)
顧問	田中 南欧子	S55東ア(7回)
顧問	大河原 友子	S62東ア(14回)
参与	三浦 博史	H3世界(4回NL)
参与	中野 智昭	S61船(20回)
参与	田中 克宜	S54アフリカ(21回)
参与	焼野 嘉津人	S53北米(20回)
参与	上杉 聖次	S54船(13回)

最新の情報はウェブサイトをご覧ください。
<http://www.iyeo.or.jp>

〈47都道府県8ブロック制〉

都道府県IYEO会長 平成27年7月22日現在

北海道・東北ブロック

北海道 青森 岩手

宮城 秋田 山形 福島

北海道青年国際交流機構	小田 玲実	H19日中(29回)	hokkaidoiyeo@yahoo.co.jp
青森県青年国際交流機構	木村 大輔	H15世界(16回)	aomoriyeo2015@gmail.com
岩手県青年国際交流機構	高橋 直幸	H21世界(22回)	iwateiyeo@yahoo.co.jp
宮城青年国際交流機構	伊勢 みゆき	H12世界(13回)	miyagi.iyeo@gmail.com
秋田県青友会	エヨン グ 宏枝	H14世界(15回)	iyeo.akita@gmail.com
山形県青年国際交流機構	鏡 千尋	H20日韓(22回)	※hq@iyeo.or.jp
船と翼の会ふくしま	山崎 庸貴	H14日韓(16回)	funetotubasa@hotmail.co.jp

関東ブロック

茨城 栃木 群馬 埼玉

千葉 東京 神奈川 山梨

茨城県青年国際交流機構	深谷 めぐみ	H4世界(5回)	ibarak-iyeo@hotmail.co.jp
栃木県青年国際交流機構	赤木 克葉	H5中国(15回)	※hq@iyeo.or.jp
群馬青友会	青木 優子	H10日中(20回)	gunma_seiyukai_iyeo@yahoo.co.jp
埼玉県青年国際交流機構	大島 修一	H3韓国(5回)	saitamaiyeo@gmail.com
千葉県青年国際交流機構	石崎 好章	H13日韓(15回)	chibaiyeo@gmail.com
東京都青年国際交流機構	神戸 知子	H13東ア(28回)	tokyoiyeo@yahoo.co.jp
神奈川県青年国際交流機構	酒井 敏之	S54東ア(6回)	iyekanagawa@yahoo.co.jp
山梨県青年国際交流機構	関 和美	H15世界(16回)	kaz0906seki@yahoo.co.jp

東海ブロック

岐阜 静岡 愛知 三重

岐阜県青年国際交流機構	戸崎 政寿	H13日中(23回)	※hq@iyeo.or.jp
静岡県青年国際交流機構	久米 真未	H13東ア(28回)	shizuoka.iyeo@gmail.com
愛知県青年国際交流機構	高山 将宏	H15日韓(17回)	info@iyeo-aichi.jp
三重県青年国際交流機構	白木 邦貞	H17世界(18回)	mie-iyeo@hotmail.co.jp

tokushima.iyeo@hotmail.co.jp
kagawaiyeo@gmail.com
e-iyeo@hotmail.co.jp
kochi.iyeo@gmail.com

北信越ブロック

新潟 富山

石川 福井 長野

新潟県青年国際交流機構	小林 恵子	H10世界(11回)	niigataiyeo@gmail.com
富山県青年国際交流機構	日南田 美幸	H3世界(4回)	iyeo_toyama@hotmail.co.jp
石川県青年国際交流機構	蔵 真基子	H13スウェーデン(8回)	※hq@iyeo.or.jp
福井県青年国際交流機構	吉本 與史一	H19コア(6回)	fukuiiyeoh21@yahoo.co.jp
長野県青年国際交流機構	樋口 敦子	H5世界(6回)	iyeonagano@yahoo.co.jp

近畿ブロック

滋賀 京都 大阪

兵庫 奈良 和歌山

滋賀県青年国際交流機構	上田 健	H23世界(24回)	shiga-iyeo@kohara.info
京都府青年国際交流機構	荒田 圭久	H1世界(2回)	kyotoiyeo@hotmail.co.jp
大阪府青年国際交流機構	大橋 克俊	H19東ア(34回)	osakaiyeo@gmail.com
兵庫県青年国際交流機構	関本 彩子	H20世界(21回)	iyeo.hyogo@gmail.com
奈良県青年国際交流機構	久田 智恵美	H21日中(31回)	iyeo.nara@gmail.com
海友会(和歌山)	出羽 正典	H16日中(26回)	kaiyukai.iyeo@gmail.com

中国ブロック

鳥取 島根 岡山

広島 山口

とっとり青友会	河崎 忠義	H6東ア(21回)	tottoriseiyuukai@yahoo.co.jp
国際ネットワークしまね	池田 俊貴	H20コア(7回)	inshimane@gmail.com
岡山県青年国際交流会	長木 愛	H12東ア(27回)	okayamaiyeo@hotmail.co.jp
広島県青年国際交流機構	兼友 昭典	H20東ア(35回)	hiroshima.iyeo@gmail.com
山口県青年国際交流機構	徳富 信恵	H17世界(18回)	y_iyeo@yahoo.co.jp

九州ブロック

福岡 佐賀 長崎 熊本

大分 宮崎 鹿児島 沖縄

福岡県青年国際交流機構	岡部 恵子	H19日韓(21回)	fukuokaiyeo@yahoo.co.jp
佐賀県青年国際交流機構	秋山 ひろみ	H2世界(3回)	sagaiyeo@gmail.com
長崎県青年国際交流機構	山田 公美	H16コア(3回)	※hq@iyeo.or.jp
熊本県青年国際交流機構	西田 香菜子	H18東ア(33回)	※hq@iyeo.or.jp
大分県青年国際交流機構	田中 一旭	H25コア(11回)	oita.iyeo@gmail.com
宮崎県青年国際交流機構	荒武 千穂	S58東ア(10回)	※hq@iyeo.or.jp
鹿児島県青年国際交流機構	土井 敦	H22コア(9回)	kagoshimaiyeo@gmail.com
沖縄県青年国際交流機構	上江洲 利奈	H17世界(18回)	okinawa.iyeo@gmail.com

四国ブロック

徳島 香川 愛媛 高知

徳島県青年国際交流機構	近森 由記子	H20世界(21回)	
香川県青年国際交流機構	菅 圭介	H15世界(16回)	
愛媛県青年国際交流機構	澤田 乃理子	H22世界(23回)	
高知県青年国際交流機構	杉尾 智子	H18世界(19回)	



東日本 大震災復興 支援活動

東日本大震災から4年。IYEOは東日本大震災発生直後から、東北3県のIYEO会員と連携し、様々な活動をしてきました。これまでの活動をまとめて紹介します。

I. IYEO東日本大震災復興支援募金活動

16,136,723円

(団体10,494,546円、個人5,642,177円)の寄付が集まりました(平成27年3月31日迄)。主な使途は、支援金、支援物資送付、事業実施です。

II. IYEO東日本大震災復興支援活動 (岩手県、宮城県、福島県)

内閣府青年国際交流事業既参加者の経験や知識、情報、アイデアをいかしながら、IYEOが東日本大震災の被災地の復興に貢献する活動を、岩手県、宮城県、福島県のIYEOが主催する際に、必要に応じてIYEO東日本大震災復興支援金を役立てました。

III. 東日本大震災発生からの IYEO の主な動き

平成23年	3月11日	東日本大震災発生
	3月15日～	「IYEO東日本大震災募金」開始
	3月22日～	海外の既参加青年や同窓会組織、関係団体からの御見舞いメッセージや寄付金収集
	3月24日～6月末	食品、衣料品、生活用品、薬品などの支援物資を購入、避難所や被災地域への提供開始 被災県では、役員を中心としたIYEO会員がボランティア活動を始め
平成23年 平成24年	11月末	「IYEO東日本大震災復興支援活動に係る助成金」支給制度の制定 ①「Action for Japan UK」英国大学生 陸前高田ボランティア受入れプロジェクト(平成24年9月) ②「南三陸玉手箱プロジェクト」(平成24年4月) ③「岩手県青年国際交流機構」雪かきプロジェクト」(平成26年4月)
	6月末～12月末	被災したIYEO会員やご家族へのお見舞金の送金
平成23年 ～24年		リラックス&リフレッシュ温泉ツアーの実施(平成23年7、8月、平成24年3月)
平成24年	12月中旬～現在	宮城県、福島県、岩手県各IYEO主催「坂本達さん講演会」企画実施への協力



平成23年5月から始まった緑側カフェ活動もIYEOの強力なサポートの下4年目となりました。今年度は、カフェ活動当初より訪問している田野畑村の仮設住宅に加え、被災した学生や復興支援に取り組む団体の複合拠点施設「しえあハート村」や、大槌町のNPO「つどい」主催のイベントにも積極的に参加し、平成26年度は計6回開催。どちらもIYEOメンバーが事務局を務める団体ですが、協働することで幅広い層の人々と触れ合い、IYEOは震災を忘れることなく活動を継続していることを伝える機会にもなりました。来年度の緑側カフェも定点での開催に加え、更なる需要に応えながらバラエティ豊かに開催していく予定です。

■ 岩手県青年国際交流機構

■ 宮城県青年国際交流機構

「支援が届きにくい方々へのピンポイント支援を継続的に行うこと、また、支援を通して関係性を築きながら復興を共に目指すこと」を目標に、活動を継続して行っています。



平成26年度は、坂本達さんによる講演会を県内7か所で実施しました。特に沿岸部の震災の被害が大きかった地域を中心に、宮城IYEO伊勢会長が代表を務める教育支援団体、特定非営利活動法人まなびのたねネットワークと共催で学校へつなぎました。共催で行うことで、坂本さんの講演会が単発ではなく、キャリア教育の「環」として事前、事後学習へとつながられています。講演後、先生方から「子供達が自発的に坂本さんの講演内容について話し始めました。初めての事です(小6)」「あんなに質問が出るとは思いませんでした(小5)」などの声をいただきました。

■ 船と翼の会ふくしま

平成25年度に引き続き、震災をテーマにしたワークショップ「福島の家会議After3.11」の開発、そして実践に取組んでいます。平成25年度、震災後初めて東南アジア青年の船事業を福島県で受け入れました。その時に実施した震災直後の福島に住む私たちの状況をロールプレイで疑似体験するワークショップを創りました。船と翼の会ふくしまがここ数年、力を注いだきた国際理解のためのワークショップの学びが震災の体験を伝えるワークショップにいかされました。このワークショップが大変好評だったので、震災復興の事業として震災の体験を伝えるワークショップを福島県外の各地で実施することになりました。



東日本大震災による原子力発電所の事故。その直後、福島に住む人々がどう考え、

大規模災害 復興 支援活動

内閣府(当時:総理府)青年国際交流事業及びその事後活動の歴史は、1959年(昭和34年)に青年国際交流事業が始まって以来、「日本青年海外派遣青友会」と「青年の船の会」そして統合後の「日本青年国際交流機構」の長年の歴史の中で培われ、海外とのネットワークと、全国的組織をい

かした数多くの活動が、半世紀以上にわたって実施されてきました。詳細はIYEOウェブサイト上で御覧になれます。

<http://www.iyeo.or.jp/ja/profile/rekishih.html>

2005年(平成17年)5月に発生したジャワ島中部沖地震の救援募金活動をしたことをきっかけに、2006年(平成18年)に「IYEO大規模災害支援積立金」を制定しました。この制度は、IYEOと緊密な関係を有する国内外における機関、組織及び役員、会員等が、大規模な災害等によって罹災した際に、都道府県IYEOまたは各国の事後活動組織の要請を受けて、IYEOとして速やかな支援活動に取り組むことを目的として制定され、これまでに9件の実績があります。(東日本大震災復興支援は独立した活動としています。)

「大規模災害支援積立金」適要実績一覧

チリ大地震	2010年2月	¥105,100	SWYAAチリを通じ、テレトンへ
オーストラリア洪水	2011年1月	¥82,650	SWYAAオーストラリアを通じ、クイーンズランド州政府復興支援募金へ
ニュージーランド・クライストチャーチ 地震	2011年2月	¥95,950	SWYAANZを通じ、ニュージーランド赤十字へ募金
タイ王国 洪水	2011年10月	¥57,374	SSEAYP International Thailand (略称 ASSEAY)を通じ、被災者支援
東日本大震災復興支援	2011年3月	※	IYEO東日本大震災復興支援活動として稼働
宮崎県 口蹄疫	2012年10月	¥92,340	宮崎県IYEOにより、「宮城の食を応援国際交流BBQin山城」実施
フィジー サイクロン	2012年12月	¥97,000	SWYAAフィジーにより、学用品や食料供給バックを支給
フィリピン 台風	2013年11月	¥902,805	SSEAYP International Philippines(略称 SIP)により、仮設住宅となるテント等を支給
ソロモン諸島 洪水	2014年4月	¥130,150	SWYAAソロモン諸島により、キッチン用品等を支給
バヌアツ サイクロン	2015年3月	¥493,000	SWYAAバヌアツにより、学校修繕のためのセメント等を支給

※ P12 I参照

平成27年度の活動紹介

平成27年4月に、バヌアツにてサイクロンが発生。その被害に対し、SWYAAバヌアツへ大規模災害支援積立金を送金しました。



地域の学校長へ、校舎修復のためのセメントを渡すセレモニー

その後IYEOを通じて集まった寄付金の総額は493,000円となり、MOPASバック(約450個)の送料の一部(16,140円)を超える額はすべて2回(3月17日、5月1日)に分けて、SWYAAバ



SWYAAバヌアツのメンバーが校長先生により、新しい校舎を建てる場所の説明を受ける

<https://www.facebook.com/pages/SWYAA-Vanuatu/1432529377045921?ref=hl>



陽射しと海と出合いが織りなす夏物語。

降り注ぐ陽差しが、青い海を輝かせる盛夏の到来。
華やかさと躍動感、感動にあふれた夏物語の始まりでもあります。
出会った風景の数だけ、人の心を豊かに育む旅のストーリー。
その頁を一枚一枚めくるのは、にっぽん丸で旅する皆さまです。

さあ、にっぽん丸で出かけましょう。

2015年10月15日(木)横浜発～10月16日(金)横浜着
秋の横浜ワンナイトクルーズ
(大人お一人様代金)
37,000円(G3/コンフォートステート)～205,000円(グランドスイート)
※G3とは、コンフォートステートを3名で利用した場合の代金です。

○詳しいパンフレットをご用意しています。最寄りの旅行会社または、下記へお問い合わせください。

クルーズデスクフリーダイヤル 9:30～17:00(土・日・祝はお休みです) 〒107-8532 東京都港区赤坂1-9-13 三井ビル5階
商船三井客船 0120-791-211 <http://www.nipponmaru.jp>

撮影：中村 風詩人

国際的な 活動の展開

I Y E O 活動方針の三つの柱にある「国際ネットワークをいかした国際協力活動に取り組む」ことをねらい、国内外における様々な課題に対応するため、国際協力活動を推進し、社会に貢献していく活動を行っています。本紙では三つの国際ネットワークをいかしたプロジェクトを紹介いたします。

■スリランカ教育支援プロジェクト One More Child Goes To School

スリランカ教育支援プロジェクト One More Child Goes To School は、より多くのスリランカの子供たちが学校に通い、継続して学習ができるための支援、そして、I Y E O 会員やスリランカの子供たちの教育支援に興味がある人たちのネットワークを強化することをねらって、会員が2008年に立ち上げたプロジェクトです。

2010年からフォスター・ペアレックス(里親)制度を開始し、6年間に支援した生徒数は延べ125名(2015年はペアレックス65組で73名の生徒を支援)。これまでペアレックスとして支援してくださった方々(I Y E O 会員紹介の一般の方を含む)は75組です。複数の既参加青年がグループで支援したり、家族で支援したりすることもあるため、ペアレックスの総数は100名を超えています。

支援内容は、毎年生徒に学用品を届けるほか、小学校に



第1回「支援校訪問ツアー」で小学校・地域の方々の協力で
行われた「バザー」に加わるツアー参加者

【問合せ・申込先】I Y E O スリランカ教育支援プロジェクト
One More Child Goes To School プロジェクトチーム
onemorechild@iyeo.or.jp

現地で購入した品々を寄贈しています(男子用トイレ、授業で使用するプロジェクト、先生用の鍵付ロッカー、職員室で使用するポータブルコピー機やラップトップ、生徒400名分の机と椅子等)。
また、昨年に引き続き、2015年7月18～22日に第2回「支援校訪問ツアー」を実施しました。

今年度は日本開催となり、奈良県で実施されます。「奈良でつながり、ナラ(ナラ)を結ぶ」をテーマとし実行委員が内容づくりに励んでいます。日韓交流やネットワークに興味のある方は是非緒に活動しましょう。

連絡会議では、①国を超えた縦横無尽の日韓OBGネットワークを形成すること、②このネットワークを活用し、日韓友好や社会貢献に寄与するという、二つの目標を掲げています。

今年度は日韓国交正常化50周年。この記念すべき年に青年たちがこのネットワークを活用して何ができるかを共に考えます。

■日韓交流連絡会議

日韓交流連絡会議は、日本・韓国青年親善交流事業に参加した青年たちが、国際交流事業で得た日韓のきずなを再確認するとともに、培った経験と国際感覚をいかし、国と世代を越えて、長い期間での日韓交流ネットワークを構築していくことを目的として発足し、年に一度韓国または日本で開催しています。



第11回日韓交流連絡会議にて、アクションプランのアイデアを交換する参加者

【第12回日韓交流連絡会議】
日程：2015年8月7日(金)～9日(日)※現地集合・現地解散
会場：奈良県生駒市「生駒山麓公園」(奈良県生駒市俣口町2088)
スケジュール案：開会式、アクションプラン・トーク、分科会、料理体験、地域理解研修(任意)
参加費：10,000円(2泊3日、5食含)
【問合せ】日韓交流連絡会議 担当
korea_kai@iyeo.or.jp
<http://www.iyeo.or.jp/korea/renraku/>

■I Y E O コア・リユニオン・プロジェクト：3分野スタディツアー

青年社会活動コアリーダー育成プログラム(呼称「コア」)は、多様な個人が能力を発揮しつつ、自立して共に社会に参加し、支え合う「共生社会」を築いていくためには、地域住民やNPOなどによる社会活動の充実が必要不可欠であるという認識のもと、高齢者・障害者・青少年分野(3分野)において、社会活動の中心的担い手となる青年リーダーの能力の向上と、各国、各分野間のネットワークの形成を図ることを目的として、平成14年度から実施されているプログラムです。この事業の10周年を機に海外スタディツアーの企画を有志で練り、ドイツ既参加青年の協力の元、平成26年8月に3分野の施設見学・意見交換を中心としたドイツへのスタディツアーを実施しました。

今年度は英国へのスタディツアーを予定しており、首都圏在住のOBが中心となつて準備を進めています。詳細が決まり次第、I Y E O ホームページでも案内予定です。尚、このスタディツアーは、青年社会活動コアリーダー育成プログラムのインターナショナル・リユニオンとして、ヨーロッパ各国のコア既参加青年にも募集案内を行います。



第1回「I Y E O コア・リユニオン・プロジェクト：ドイツの3分野スタディツアー」にて関係施設で説明を聞く参加者

【第2回コア・リユニオン・プロジェクト：3分野スタディツアー】
訪問予定国：英国 日程：平成27年11月予定 ※現地集合・現地解散
【問合せ・申込先】コア・リユニオン・プロジェクト：3分野スタディツアー担当
core_reunion@iyeo.or.jp